



2016(平成28)年
12月8日
木曜日



© 福島民報社 2016

斎栄織物(川俣) 知事賞

第2回ふくしま産業賞

イービーエム(福島) 民報賞

菊池製作所(飯館) 民報奨励賞

知事賞	斎栄織物 (川俣)
福島民報社賞	イービーエム (福島)
福島民報社奨励賞	菊池製作所 (飯館)
金賞	大野村農園 (相馬)
	仁井田本家 (郡山)
	マストロ・ジェッツ (南会津)
銀賞	羅羅屋 (会津若松)
	サンピックス (郡山)
	ウェブレッジ (郡山)
	クラロン (福島)
	銀嶺食品 (福島)
特別賞	福島銀行 (福島)
	白河薬材ヴァレー (白河)
	米屋企業(おとぎの宿米屋) (須賀川)
	会津ラボ (会津若松)
	渋谷レックス (福島)
	貴千 (いわき)
	おくや (喜多方)
	三義漆器店 (会津若松)
	長門屋本店 (会津若松)
	NPO法人あたご (南会津)
	タカラ印刷 (福島)
	ダイテック (いわき)
	道の駅あいづ 湯川・会津坂下 (湯川)
	神田産業 (須賀川)
	サンフレックス永谷園 (いわき)
	ワンダーファーム (いわき)
	川俣町農業振興公社 (川俣)
	フミン (福島)
	会津中央乳業 (会津坂下)
	いわき連野らばん (いわき)

県内の優れた企業や経営者、ものづくりを顕彰する福島民報社の第二回ふくしま経済・産業・ものづくり賞(略称・ふくしま産業賞)の受賞企業・団体が決まった。最高賞の知事賞に斎栄織物(川俣町・斎藤泰行社長)が輝いた。福島民報社賞はイービーエム(福島市・朴栄光社長)、福島民報社奨励賞は菊池製作所(飯館村・菊池功社長)が受賞した。金賞は三社、銀賞が五社、特別賞は二社・団体が受けた。

(4・5・24・25面に関連記事)



斎栄織物
斎藤泰行社長



イービーエム
朴栄光社長



菊池製作所
菊池功社長

製造業や情報通信業、六次化を含む農業など幅広い分野から、昨年度の八十九社・団体を超える百三社・団体の応募があった。福島大経済経営学類教授の西川和明氏を座長とする専門委員会が入賞企業・団体を決定した。最終審査の選考委員会は選考委員長で旭化成相談役の蛭田史郎氏(いわき市出身)をはじめ選考委員六人が各賞を決めた。

菊池製作所は、独自の技術を生かした着用型筋力補助装置「マッスルスリム」など福祉分野への進出や大学と連携した研究開発など新しい分野に挑戦し、県

も高く評価された。福島民報社賞のイービーエムは、心臓外科手術を担う専門医の訓練シミュレーターの製造・販売拠点を福島市に構えた。福島で世界の心臓血管外科医をトレーニングする構想を掲げ、各界から注目を集めている。

内口ポット産業をけん引している。福島民報社は産業やものづくりの振興を通じて地域の活力を高めようと、県や経済団体の農林水産団体と協力し

ふくしま産業賞

- 主催一福島民報社
- 共催一県、県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、福島経済同友会、県経営者協会連合会、県中小企業家同友会、JA福島五連、県森林組合連合会、県森林・林業・緑化協会、県木材協同組合連合会、県漁連
- 後援一経済産業省東北経済産業局、復興庁福島復興局、県市長会、県町村会

2月4日 福島で表彰式

表彰式は来年二月四日午前十時半から福島市の民報ビルで行われ、各賞を受けた全三十一社・団体の栄誉をたたえる。受賞企業・団体と関係者の交流会を開き、情報交換や販路開拓の場とする。会場に受賞企業・団体の取り組みが分かる商品やパネルを展示する。一般県民も参加できる。

31社・団体たたえる
の復興につなげるのが目的。地域に根差した個人の営みから上場企業までを対象にして、広がりを見せている。第一回で受賞した企業・団体が連携し、新事業を興すなど

銀賞

銀嶺食品

福島

6次化商品が並ぶ店舗
JAふくしま未来と6次産業の包括的業務提携を結び、生産から加工、流通までの流れを一体化させた独自の取り組みを展開している。福島モデルとして6次産業化の仕組みをインドネシアに輸出しようと検討している。